

質問(小池利雄議員) 全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取り組みについて伺います。

答弁(教育長) A問題については過去四回にわたる調査すべてにおいて全国平均を上回り、各都道府県と比較しましても上位を占めております。

市の基礎学力向上研究委員会の分析によりますと、これまでの好結果の要因としては、市の非常勤教員の配置などにより、非常に落ち着いた学習環境が保たれて

いることや市独自の教材を活用し、市独自学習到達調査により、基礎、基本について統一の目標を持つて取り組めることや家庭と連携し、家庭学習が定着していることが挙げられております。

次に、B問題のうち、小学校算数Bがここ三年で改善が見られ、本年度はこれまで最高の全国七位相当まで伸びておりますが、国語Bについては、小学校で全国平均を下回り、中学校においても成績があまりあらわれていないと

今後とも全国学力・学習状況調査の結果につきましては分析を続け、これから社会に求めらわれる学力を本市の子供たちが身につけられるよう努力してまいります。

非常勤講師を配置し、充実した内容の授業

全国学力・学習状況調査ヒヤウ

うつ病は周囲の理解と協力が大切です（小冊子より）

質問(本澤節子議員)うつ病の対策について伺います。

答弁(保健福祉部長)市のうつ病対策としては、うつ病等に対する支援を求める方々に多方面から視点でケースの処遇を検討するため、精神保健検討会を設置して、府内担当者や関係機関との情報交換等により、共通認識を図りながら対策を推進しております。

また、自殺対策の一環として、うつ病等に対する理解促進、相談機関等を掲載した小冊子「みんな

で考えてみませんかを作成し、市の施設や医療機関に配布して対策を推進するとともに、うつ病は専門医につなぐことができれば、ある程度は防ぐことも可能であることから、臨床心理士や専門医の講演会を開催し、うつ病等の精神疾患について市民の理解促進を図っています。

さらに、自殺対策の一環として実施した傾聴ボランティア講座の受講生が主体となつて、傾聴ボランティアグループ、ハートフル

十字病院の健康電話相談による心と体の相談事業、社会福祉法人橋木いのちの電話が心の危機を回避するための電話相談等を開設するなど、さまざまうつ病対策が講じられております。

本市としましては、こうした対策事業の着実な推進によりましてうつ病等の方々を支援し、一日も早い社会復帰を目指して対策を推進してまいりたいと考えております。

うつ病の対策について

つぶて

ハートを組織し、心の悩みの解消に向けた傾聴活動を展開しております。そのほかにもNPO法人那須フロンティアのメンタルヘルスに関する相談事業 大田原赤